

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
東京リゾート＆スポーツ専門学校		平成9年11月27日		庄司 一也		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷4-12-6 (電話) 03-5615-9210		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	社会体育専門課程	スポーツ＆アクティビティ科		令和 3(2021)年度	-	令和 6(2024)年度		
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、スポーツ業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日のスポーツ業界を担う人材を養成することを目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。 ・(公財)健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者 ・一般社団法人日本フィットネス産業協会フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3 級							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間 62 単位	単位時間 25 単位	単位時間 28 単位	単位時間 5 単位	単位時間 0 単位	単位時間 16 単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
160 人	43 人		1 人		0 %	15 %		
就職等の状況	■卒業者数(C) : 40 人							
	■就職希望者数(D) : 36 人							
	■就職者数(E) : 27 人							
	■地元就職者数(F) : 17 人							
	■就職率(E/D) : 75 %							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 63 %							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 68 %							
	■進学者数 : 2 人							
	■その他							
	帰国							
(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)								
■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) フィットネスジム・スタジオ・各スポーツスクール・リラクゼーション・福祉施設・スポーツメーカー・スポーツ用品販売								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL							
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/course/sports/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				0 単位時間			
	うち必修授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				0 単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				0 単位時間			
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数				62 単位			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				4 単位			
	うち企業等と連携した演習の単位数				2 単位			
	うち必修単位数				2 単位			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				0 単位			
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数				2 単位			
	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				0 単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				20 人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				30 人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				8 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人			
	計				58 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				8 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、スポーツ分野専門委員会（別紙組織図：各専門委員会）にて提案される。

提案に基づき、スポーツ分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
斉野 恵康	日本トレーニング指導者協会	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	①
石原 真衣子	JR東日本スポーツ株式会社	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	③
村越 隆浩	株式会社ファクトリージャングループ	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	③
陶山 毅	東京リゾート＆スポーツ専門学校 副校長	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	－
澤田 友紀	東京リゾート＆スポーツ専門学校 専門課長	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	－
金子 能久	東京リゾート＆スポーツ専門学校 教務主任	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	－
加藤 美保	東京リゾート＆スポーツ専門学校 教務主任	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	－
安田 雄二	三幸学園 企画開発部	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日（2年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回（7月、1月）

（開催日時（実績））

第1回 令和6年7月10日 15:30～17:00

第2回 令和7年1月29日 15:30～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①入学前後で実技授業と座学授業の割合のギャップがあるという課題を解決する必要がある。トレーナー理論と実践Ⅰ～Ⅳ、インストラクター理論と実践Ⅰ～Ⅳの授業シラバスについてより良くするためにどうするか。

⇒対応：1年生は職業リテラシーの醸成をするため実技科目の割合を多くし、2年生は専門性をより磨く教育課程へと変更した。座学と実技授業を組み合わせ、学びやすいように大幅なカリキュラム改訂を実施し、本校の学生用にカスタマイズしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、スポーツ業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。スポーツ業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

【ピラティス理論と実践Ⅰ・Ⅱ】

* 授業内容について：2年次後期に30時間、連携企業先で現場実習を実施し、スポーツ業界に必要な業務内容を習得するとともに日々の学習成果のアウトプットを行う。

* 評価について：連携企業による項目別の評価と提出された実習手帳の内容を加味し、最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする。

【インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ】

* 授業内容について：1年次、2年次にスポーツトレーナー科80時間、スポーツインストラクター40時間、連携企業先で現場実習を実施し、スポーツ業界に必要な業務内容を習得するとともに日々の学習成果のアウトプットを行う。

* 評価について：連携企業による項目別の評価と提出された実習手帳の内容を加味し、最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ピラティス理論と実践Ⅰ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	ピラティスという運動療法を通して、実際の現場で即戦力として活躍できる人材となるための実践的な指導力を身につける	株式会社CODE7
ピラティス理論と実践Ⅱ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	ピラティスという運動療法を通して、実際の現場で即戦力として活躍できる人材となるための実践的な指導力を身につける	株式会社CODE7
インターンシップ実習Ⅰ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	授業で学んだ知識や技術をアウトプットし、実践力を養うとともに、現場・社会に触れることで、求められる人物像やスキル、社会を学ぶ	株式会社東武スポーツ 東急スポーツシステム株式会社 リーフラス株式会社・株式会社ルネサンス 株式会社ロンド・スポーツ
インターンシップ実習Ⅱ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	授業で学んだ知識や技術をアウトプットし、実践力を養うとともに、現場・社会に触れることで、求められる人物像やスキル、社会を学ぶ	株式会社東武スポーツ 東急スポーツシステム株式会社 リーフラス株式会社・株式会社ルネサンス 株式会社ロンド・スポーツ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針		
実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のスポーツ業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。		
・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修		
・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： コンディショニング研修	連携企業等： 日本コアコンディショニング協会	
期間： 2024年8月23日	対象： 担任教員(7名)	
内容 後期授業に向けた指導研修		
研修名： トレーニング指導研修	連携企業等： NESTA JAPAN	
期間： 2024年8月23日	対象： 担任教員(7名)	
内容 後期授業に向けた指導研修		
研修名： ストレングス&パフォーマンス講習会	連携企業等： NESTA JAPAN	
期間： 2025年4月15日～2025年4月16日	対象： 担任教員(2名)	
内容 ストレングス&パフォーマンス資格取得に向けた講習会		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： ココロの授業	連携企業等： 上田情報ビジネス専門学校	
期間： 2025年3月18日	対象： 教職員(50名)	
内容 「幸せになるための就職活動」をテーマに、働くことの意味と重要性、および学生指導についてを学ぶ。		
(3)研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： コンプレフロス研修	連携企業等： 株式会社サント・ジャパン	
期間： 2025年9月18日、2025年9月24日	対象： 授業担当教員(7名)	
内容 後期科目にて使用するコンプレフロスの指導研修		
研修名： PFT研修	連携企業等： NESTA JAPAN	
期間： 2025年9月26日	対象： 授業担当教員(5名)	
内容 パーソナルフィットネストレーナー資格取得のため講習会		
研修名： トレーナー/インストラクター理論と実践・エクササイズバリエーション研修	連携企業等： NESTA JAPAN	
期間： 2025年2月中旬	対象： 授業担当教員(7名)	
内容 新科目での実施方法、例の共有		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： 授業力向上研修	連携企業等： 株式会Loilo	
期間： 2026年3月25日	対象： 全教職員(100名)	
内容 ICT教育を用いたクラス運営及び授業展開		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①入学前後で実技授業が思ったより少ないというギャップを埋める対策、早期支援や対策が必要ではないか。

⇒対応：授業開始前に初期教育プログラムを実施予定。また、通信制高校卒業後の学生も多くなっているため、アンケートなどを活用した個へのアプローチも実施していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
村越 隆浩	スポーツ業界企業 本部長	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
斉藤 優子	スポーツ業界企業 支店長代理	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
朝永 大道	学生寮運営企業 副部長	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
仁志 裕造	通信制高校 副校長	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	高校教員
会田 愛音	卒業生	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/>

公表時期: 令和7年7月22日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: <https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/>
公表時期: 令和7年5月9日

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 スポーツ&アクティビティ科)													
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法				企業 等との 連携
	必 修	選 択	自由 選択						講 義	演 習	実 験・ 実習・ 実技	場 所 校 内 外	教 員 専 任 兼 任
1			○	インストラクター理論と実践Ⅰ	トレーニング実践と指導、トレーニング理論、機能解剖学、運動生理学を統合した科目 インストラクターとしてフィットネスクラブで指導できる。クリックリフトなどは組み込まない	1 年前期	45	3		○		○	○
2			○	インストラクター理論と実践Ⅱ	トレーニング実践と指導、トレーニング理論、機能解剖学、運動生理学を統合した科目 インストラクターとしてフィットネスクラブで指導できる。クリックリフトなどは組み込まない	1 年前期	45	3		○		○	○
3			○	インストラクター理論と実践Ⅲ	トレーニング実践と指導、トレーニング理論、機能解剖学、運動生理学を統合した科目 インストラクターとしてフィットネスクラブで指導できる。クリックリフトなどは組み込まない	1 年後期	45	3		○		○	○
4			○	インストラクター理論と実践Ⅳ	トレーニング実践と指導、トレーニング理論、機能解剖学、運動生理学を統合した科目 インストラクターとしてフィットネスクラブで指導できる。クリックリフトなどは組み込まない	1 年後期	45	3		○		○	○
5	○			スタジオエクササイズⅠ	グループエクササイズ指導の基礎知識を身につける。	1 年前期	30	1			○	○	○
6	○			スタジオエクササイズⅡ	グループエクササイズ指導の基礎知識を身につける。	1 年後期	30	1			○	○	○
7			○	トレンドエクササイズⅠ	運動指導の現状を理解する サーキットトレ、エアロビ、ヨガ、ピラティス、ボクササイズ等の各エクササイズができるようになる	1 年前期	30	2		○		○	○
8			○	トレンドエクササイズⅡ	運動指導の現状を理解する。 サーキットトレ、エアロビ、ヨガ、ピラティス、ボクササイズ等の各エクササイズができるようになる	1 年後期	30	2		○		○	○
9			○	スポーツストレッチ実践Ⅰ	ストレッチングに関する正しい知識と技能を学習する。	1 年前期	30	1			○	○	○
10			○	スポーツストレッチ実践Ⅱ	ストレッチングに関する正しい知識と技能を学習する。	1 年後期	30	1			○	○	○
11			○	スポーツ栄養学ⅠA	栄養コンシェルジュメソッドの栄養学を学ぶ。	1 年前期	30	2	○			○	○
12			○	スポーツ栄養学ⅠB	栄養コンシェルジュメソッドの栄養学を学ぶ。	1 年後期	30	2	○			○	○
13	○			運動障害の予防と救急処置ⅠA	救急処置、心肺蘇生、運動障害（内科・外科）を学ぶ。	1 年前期	30	2		○		○	○
14	○			運動障害の予防と救急処置ⅠB	救急処置、心肺蘇生、運動障害（内科・外科）を学ぶ。	1 年後期	30	2		○		○	○
15			○	運動指導の心理学	健康行動に影響を与えるさまざまな要因や身体活動・運動実践が心身の健康に与える影響について、また個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を理解する	1 年前期	30	2	○			○	○
16			○	未来デザインプログラムⅠ	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。	1 年前期	15	1	○			○	○
17			○	未来デザインプログラムⅡ	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。	1 年後期	15	1	○			○	○
18			○	キャリア教育Ⅰ	自己成長と社会適応力を高め、充実した大人として生きる準備をする。	1 年前期	15	1	○			○	○
19			○	キャリア教育Ⅱ	業界で成功するための必要なスキルやマインドを習得する。	1 年後期	15	1	○			○	○
20			○	コンディショニング実践ⅠA	健康教育に関わる者として、コアコンディショニングの概念および手法を用いたコンディショニング指導方法を習得する。	1 年前期	30	2		○		○	○
21			○	ビジネスマナー	社会人になる上で、就職活動や卒後のキャリアに向けて相応しい立ち居振る舞いや言葉遣い、お客様対応などを習得し、好印象を与えることができるようになる。また就職活動に向けた対策内容も学んでいく。	1 年後期	15	1	○			○	○
22			○	コースセレクト概論	1年後期コース選択するにあたり、各コースの講義と実技を実施する	1 年前期	15	1		○		○	○
23			○	グループエクササイズ実践Ⅰ	後期コース選択科目。前期スタジオエクササイズの実用編	1 年後期	15	1			○	○	○
24			○	グループエクササイズ指導実践Ⅰ	様々なレッスンのプログラミングやリードについて理解する。	1 年後期	15	1			○	○	○
25			○	チャイルドスポーツ実践	こども達の見本となる運動実技（マット運動、跳び箱、鉄棒等）を体験し、技術を習得する。	1 年後期	15	1			○	○	○

26			○	チャイルドスポーツ指導実践Ⅰ	幼児期に運動能力のベースをつくり、子どもの特性に合わせた指導プログラムの立案・指導方法、実技を習得する。	1年後期	45	1				○	○			○			
27			○	イベントプランニングⅠ	スポーツイベントの社会における役割理解とスポーツビジネスに活用できる人材としてイベントの企画・立案・実施の基本を理解する。	1年後期	30	1	○				○			○			
28			○	リテールマーケティングⅠ	「小売業の種類」「マーチャンダイジング」「ストアオペレーション」「マーケティング」「販売・経営管理」の5科目を通じて、流通・小売業の基本的な考え方や基礎知識・小売テクニックなどを総合的に学習する。	1年後期	30	1	○				○			○			
29			○	サッカー実践Ⅰ	サッカーの基礎技術を習得する。 サッカー指導のポイントを確認する。	1年前期	30	1				○		○	○				
30			○	サッカー実践Ⅱ	サッカーの基礎技術を習得する。 サッカー指導のポイントを確認する。	1年後期	30	1				○		○	○				
31			○	テニス実践Ⅰ	テニスコーチになる為に、各ショットを構成する局面構造を理解し、戦術を知る。 実技を行いながら、バイオメカニクス・生理学・栄養学の側面からもテニス技術を理解し習得する。	1年前期	15	1				○		○		○			
32			○	テニス実践Ⅱ	テニスコーチになる為に、各ショットを構成する局面構造を理解し、戦術を知る。 実技を行いながら、バイオメカニクス・生理学・栄養学の側面からもテニス技術を理解し習得する。	1年後期	30	1				○		○		○			
33			○	ダンスゼミ	・ダンスを仕事にする上で必要とされる知識やスキルを学ぶことで、ダンサーとして、人としての深みを出せるようにする。	1年前期	30	1				○	○			○			
34			○	ダンス実践Ⅰ	リズムやステップの習得を通してダンスの表現力を磨く。 音楽に対する感覚を養い、自身の動きに自信を持てるようにすることを目指す。	1年後期	30	1				○	○						
35			○	ダンス指導実践Ⅰ	ダンス指導の基礎知識を身につける。ダンス指導者としての振付制作の実践。	1年後期	15	1				○	○			○			
36			○	トレンドダンスⅠ	様々なダンスジャンルについて知る。実際に学び、ダンスの応用力をつける。	1年後期	15	1				○	○				○		
37			○	ダイビング用具の知識	お客様に合った適切な器材を説明・紹介出来る知識を修得する。	1年前期	30	2	○				○				○		
38			○	ダイビング物理・生理	スクーバを使って水の中に潜ると人体がどのように機能するか理解する。 水中環境がもたらす変化に人体がどのように反応するかを理解する。	1年前期	30	2	○				○				○		
39			○	潜水士	潜水士国家試験にむけて合格に必要な知識を修得する	1年後期	60	2	○				○				○		
40			○	ダイビング理論Ⅰ	OWD、AOW、レスキューダイバーの必要な知識を修得する。	1年前期	30	2	○				○				○		
41			○	ダイビング理論Ⅱ	AOW、RED、ダイブマスターに向けてダイビング理論知識を修得する	1年後期	30	2	○				○				○		
42			○	インターンシップ実習Ⅰ	授業で学んだ知識や技術をアウトプットし、実践力を養うとともに、現場・社会に触れることで、求められる人物像やスキル、社会について学ぶ	1年通年	45	1				○	○				○	○	
43			○	サービスラーニング演習	イベント運営の一員として参加者へ喜んでもらうこと・楽しんでもらうことを体感し「ささえるスポーツ」の楽しさを知り、社会的活動を通して社会人として必要な資質・能力を高めることができる。	1年通年	15	1		○			○					○	
44			○	総合演習Ⅰ	スポーツ業界に必要な4つのスキル『専門性』『コミュニケーション力』『ビジネス力』『イノベーション(創造する)力』を個々が総合的に身につける。	1年前期	30	2		○			○			○			
45			○	総合演習Ⅱ	スポーツ業界に必要な4つのスキル『専門性』『コミュニケーション力』『ビジネス力』『イノベーション(創造する)力』を個々が総合的に身につける。	1年後期	30	2		○			○				○		
46			○	スクーバダイビング実習Ⅰ	授業で学んだ知識や技術をアウトプットし、実践力を養うとともに、現場・社会に触れることで、求められる人物像やスキル、社会を学ぶ。	1年前期	120	4				○	○				○		
47	○			トレーニング実践と指導応用Ⅰ	ベーシック復習および、より高度なフリーウエイトトレーニングを学ぶ 健康の「体力測定と評価」の内容含む	2年前期	30	1				○	○				○		
48	○			トレーニング実践と指導応用Ⅱ	ベーシック復習および、より高度なフリーウエイトトレーニングを学ぶ	2年後期	30	1				○	○				○		
49			○	トレンドエクササイズⅢ	1年次の応用。各エクササイズが指導できるようになる。	2年前期	30	2		○			○				○		
50			○	トレンドエクササイズⅣ	2年次の応用。各エクササイズが指導できるようになる。	2年後期	30	2		○			○				○		
51			○	モチベーション・マネジメント	モチベーションマネジメントエントリー	2年前期	15	1	○				○				○		
52	○			ピラティス理論と実践Ⅰ	PHI Pilatesベーシックエクササイズ・インストラクター／職業企業連携科目	2年前期	30	2		○			○				○	○	
53	○			ピラティス理論と実践Ⅱ	PHI Pilatesベーシックエクササイズ・インストラクター／職業企業連携科目	2年後期	30	2		○			○				○	○	
54			○	スポーツマネジメント	フィットネス産業の商品・サービスなどの特徴及び重要性などを正しく理解する。	2年前期	30	2	○				○				○		

55			○	運動指導特論	完全選択科目、運動生理学、機能解剖学とバイオメカニクス、栄養学、心理学、体力測定 健康申請科目を実施。学習目標新の内容を網羅すること	2 年 前 期	60	4	○			○		○			
56			○	健康づくり運動の実践	学習目標新の内容を網羅すること	2 年 前 期	30	2	○			○		○			
57			○	運動指導実践	健康運動実践指導者取得にあたり必須となる 実技試験の内容を学び、専門的知識と指導技 術を高める	2 年 前 期	30	1			○	○		○			
58			○	トレーニング特論	JATI一般科目と練習問題を解く	2 年 前 期	30	2	○			○		○			
59			○	キャリア教育Ⅲ	本格化する就職活動に向けて、自ら積極的に動き、 採用試験に臨ませる。	2 年 前 期	15	1	○			○		○			
60			○	キャリア教育Ⅳ	本格化する就職活動に向けて、自ら積極的に動き、 採用試験に臨ませる。	2 年 後 期	15	1	○			○		○			
61			○	グループエクササイズ実践Ⅱ	ローインパクト、ミドルインパクト、ハイイン パクトエクササイズ3種のグループエクサ サイズの動作を実践することができる	2 年 前 期	45	1			○	○		○			
62			○	グループエクササイズ実践Ⅲ	ローインパクト、ミドルインパクト、ハイイン パクトエクササイズ4種のグループエクサ サイズの動作を実践することができる	2 年 後 期	45	1			○	○		○			
63			○	グループエクササイズ指導実践Ⅱ	様々なレッスンのプログラミングやリードに ついて理解する。レッスン指導することがで きる	2 年 前 期	45	1			○	○		○			
64			○	グループエクササイズ指導実践Ⅲ	様々なレッスンのプログラミングやリードに ついて理解する。レッスン指導することがで きる	2 年 後 期	45	1			○	○		○			
65			○	水中運動実践	水中エクササイズの理論と指導法を理解する	2 年 前 期	30	1			○		○	○			
66			○	グループエクササイズ理論Ⅰ	グループエクササイズ指導の基礎知識を理解 する。	2 年 前 期	30	2	○			○		○			
67			○	グループエクササイズ理論Ⅱ	グループエクササイズ指導の基礎知識を理解 する。	2 年 後 期	15	1	○			○		○			
68			○	チャイルドスポーツ指導実践Ⅱ	幼児期に運動能力のベースをつくり、子ども の特性に合わせた指導プログラムの立案・指 導方法、実技を身につける。	2 年 前 期	30	1			○	○		○			
69			○	チャイルドスポーツ指導実践Ⅲ	幼児期に運動能力のベースをつくり、子ども の特性に合わせた指導プログラムの立案・指 導方法、実技を身につける。	2 年 後 期	30	1			○	○		○			
70			○	キッズダンス実践Ⅰ	子どもの身体的特徴と運動器の機能向上を理 解する 正しいダンス指導方法を学習する	2 年 前 期	45	1			○	○		○			
71			○	キッズダンス実践Ⅱ	子どもの身体的特徴と運動器の機能向上を理 解する 正しいダンス指導方法を学習する。	2 年 後 期	45	1			○	○		○			
72			○	キッズレクリエーション指導実践Ⅰ	子どもの身体的特徴と運動器の機能向上を理 解する 正しいレクリエーション実施方法を学ぶ。	2 年 前 期	45	1			○	○		○			
73			○	キッズレクリエーション指導実践Ⅱ	子どもの身体的特徴と運動器の機能向上を理 解する 正しいレクリエーション実施方法を学ぶ。	2 年 後 期	45	1			○	○		○			
74			○	発育発達論	幼児及び児童の発達における基礎理論を理解する。 運動神経の発達とゴールデンエイジの関係を理解 する。年代別にあった運動を理解し即戦力となるス キルを習得する。	2 年 前 期	15	1	○			○		○			
75			○	イベントプランニングⅡ	スポーツイベントの社会における役割理解と スポーツビジネスに活用できる人材としてイ ベントの企画・立案・実施の基本を理解する	2 年 前 期	30	2	○			○		○			
76			○	リテールマーケティングⅡ	マーケティングの基本的な考え方や流通・小 売業に必要な基本知識・技能を理解する。	2 年 前 期	30	2	○			○		○			
77			○	スポーツプロモーションⅠ	スポーツの普及・促進・発展させていくことを意味 するスポーツプロモーションについて、生涯スポ ーツという観点から日本の各種スポーツ政策・施策を 事例を通して学習する	2 年 前 期	30	2	○			○		○			
78			○	スポーツプロモーションⅡ	スポーツの普及・促進・発展させていくことを意味 するスポーツプロモーションについて、生涯スポ ーツという観点から日本の各種スポーツ政策・施策を 事例を通して学習する。	2 年 後 期	30	2	○			○		○			
79			○	商品開発論Ⅰ	スポーツに関わる用品、ウェアなどスポーツショッ プで取り扱う商品はどのような議論を経て店頭に並 ぶことができるのか商品開発の基本について学習す る	2 年 前 期	30	2	○			○		○			
80			○	商品開発論Ⅱ	スポーツに関わる用品、ウェアなどスポーツショッ プで取り扱う商品はどのような議論を経て店頭に並 ぶことができるのか商品開発の基本について学習す る	2 年 後 期	30	2	○			○		○			
81			○	アプリケーション演習Ⅰ	PCやスマホにおける画像、映像の編集・加 工など実践的な活用スキルを学ぶ	2 年 前 期	30	2		○		○		○			
82			○	アプリケーション演習Ⅱ	PCやスマホにおける画像、映像の編集・加 工など実践的な活用スキルを学ぶ	2 年 後 期	30	2		○		○		○			
83			○	モチベーション・インストラクター	スポーツビジネス業界で求められるモチベー ションマネジメントを習得する。	2 年 前 期	30	2	○			○		○			

84			○	サッカー実践Ⅲ	サッカーの基礎技術を習得する。 サッカー指導のポイントを確認する。	2 年 前 期	45	1				○		○	○		
85			○	サッカー実践Ⅳ	サッカーの基礎技術を習得する。 サッカー指導のポイントを確認する。	2 年 後 期	45	1				○		○	○		
86			○	サッカー指導 実践Ⅰ	サッカーの基礎技術を習得する。 サッカー指導のポイントを確認する。	2 年 前 期	45	1				○		○	○		
87			○	サッカー指導 実践Ⅱ	サッカーの基礎技術を習得する。 サッカー指導のポイントを確認する。	2 年 後 期	45	1				○		○	○		
88			○	スクールマネ ジメント	新しい日本スポーツの在り方を理解する。	2 年 前 期	45	1	○				○			○	
89			○	フィジカルト レーニング指 導実践Ⅰ	フィジカルトレーニングの考え方やトレー ニング内容を理解する。	2 年 前 期	30	2				○	○		○		
90			○	フィジカルト レーニング指 導実践Ⅱ	フィジカルトレーニングの考え方やトレー ニング内容を理解する。	2 年 後 期	30	1				○	○		○		
91			○	テニス実践Ⅲ	テニスコーチになる為に、各ショットを構成する局 面構造を理解し、戦術を知る。 実技を行いながら、バイオメカニクス・生理学・栄 養学の側面からもテニス技術を理解し習得する。	2 年 前 期	45	1				○		○		○	
92			○	テニス実践Ⅳ	テニスコーチになる為に、各ショットを構成する局 面構造を理解し、戦術を知る。 実技を行いながら、バイオメカニクス・生理学・栄 養学の側面からもテニス技術を理解し習得する。	2 年 後 期	45	1				○		○		○	
93			○	テニス指導実 践Ⅰ	テニスコーチになる為に、各ショットを構成する局 面構造を理解し、戦術を知る。 実技を行いながら、バイオメカニクス・生理学・栄 養学の側面からもテニス技術を理解し習得する。	2 年 前 期	45	1				○		○		○	
94			○	テニス指導実 践Ⅱ	テニスコーチになる為に、各ショットを構成する局 面構造を理解し、戦術を知る。 実技を行いながら、バイオメカニクス・生理学・栄 養学の側面からもテニス技術を理解し習得する。	2 年 後 期	45	1				○		○		○	
95			○	ダンス実践Ⅱ	1年次の応用。 音楽に対する感覚を養い、自身の動きに自信 を持てるようにすることを目指す。	2 年 前 期	45	1				○	○			○	
96			○	ダンス実践Ⅲ	1年次の応用。 音楽に対する感覚を養い、自身の動きに自信 を持てるようにすることを目指す。	2 年 後 期	45	1				○	○			○	
97			○	ダンス指導実 践Ⅱ	1年次の応用。ダンス指導者としての振付制作 の実践。	2 年 前 期	45	1				○	○			○	
98			○	ダンス指導実 践Ⅲ	1年次の応用。ダンス指導者としての振付制作 の実践。	2 年 後 期	45	1				○	○			○	
99			○	トレンドダン スⅡ	1年次の応用。実際に学び、ダンスの応用力を つける。	2 年 前 期	45	3		○			○			○	
100			○	トレンドダン スⅢ	1年次の応用。実際に学び、ダンスの応用力を つける。	2 年 後 期	45	3		○			○			○	
101			○	ダイビング特 講Ⅰ	インストラクター試験に向けての知識の振り 返りを実施する。	2 年 前 期	30	2	○				○			○	
102			○	ダイビング特 講Ⅱ	インストラクター試験に向けての知識の振り 返りを実施する。	2 年 後 期	30	2	○				○			○	
103			○	インストラク ター特講Ⅰ	PADIダイブマスターでのデモンストレーションスキ ルを身につける。 PADIオープンウォータースクーパインストラクター でのデモンストレーションスキルを身につける。	2 年 前 期	30	2	○				○			○	
104			○	インストラク ター特講Ⅱ	PADIダイブマスターでのデモンストレーションスキ ルを身につける。 PADIオープンウォータースクーパインストラクター でのデモンストレーションスキルを身につける。	2 年 後 期	30	2	○				○			○	
105			○	水中生物とエ コロジーⅠ	水中世界の生態系について理解する	2 年 前 期	30	2	○				○			○	
106			○	水中生物とエ コロジーⅡ	水中世界の生態系について理解する。	2 年 後 期	30	2	○				○			○	
107			○	ダイビング施 設の運営と管 理Ⅰ	ダイビング施設の運営に関するノウハウを身 につける。	2 年 前 期	30	2	○				○			○	
108			○	ダイビング施 設の運営と管 理Ⅱ	ダイビング施設の運営に関するノウハウを身 につける。	2 年 後 期	30	2	○				○			○	
109			○	リスクマネジ メントⅠ	ダイビングに関するリスクマネジメントを理 解する。 法律システムについて理解する。	2 年 前 期	15	1	○				○			○	
110			○	リスクマネジ メントⅡ	ダイビングに関するリスクマネジメントを理 解する。 法律システムについて理解する。	2 年 後 期	15	1	○				○			○	
111			○	潜水医学	ダイビング時に発生する潜水障害について理 解する。 有効な処置が実施できるように様々な障害に ついて理解する	2 年 前 期	30	2	○				○			○	
112			○	気象・海洋学	快適なダイビングを実施するために気象・海 洋学について理解する。 ダイビングに適した海況について理解する。	2 年 前 期	30	2	○				○			○	

113		○	ダイビング特 演	日本・世界のダイビングポイント、水中環境 を理解する。 ドライスーツの使用方法を理解する	2 年 前 期	30	2	○		○		○		
114		○	インター シップ実習Ⅱ	現場・社会に触れることで、社会人に求めら れる人物像やスキルを学ぶ。また、自身が関 わる業界や社会についても学ぶ。	2 年 前 期	90	3		○		○		○	○
115		○	総合演習Ⅲ	1年～1年半学んだ内容の総合的アウトプ ット。最終は学内フィットネスクラブ	2 年 前 期	30	2		○		○		○	
116		○	総合演習Ⅳ	1年～1年半学んだ内容の総合的アウトプ ット。最終は学内フィットネスクラブ	2 年 後 期	30	2		○		○		○	
117		○	スクーパダイ ビング実習Ⅱ	授業で学んだ知識や技術をアウトプットし、 実践力を養うとともに、現場・社会に触れる ことで、求められる人物 像やスキル、社会を学ぶ。	2 年 前 期	150	5			○		○		○
118		○	スクーパダイ ビング実習Ⅲ	授業で学んだ知識や技術をアウトプットし、 実践力を養うとともに、現場・社会に触れる ことで、求められる人物 像やスキル、社会を学ぶ。	2 年 前 期	180	6			○		○		○
合計					118	科目	195 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術 を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づく りのためのプログラム提供と運動指導ができる。		1学年の学期区分	2期
履修方法： 原則として教育課程に定められている順序で履修とし、該当科目を必 履修科目としている。		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。